

表紙に使用している画像は、「透かし入り和紙」です。透かし入り和紙は、
工夫をすることで松や青海波などの模様の透かしを入れることができます。
すきすき
漉し

特集

P.2

6小学校 3中学校 どうなる再編

P.7

議会改革を進めよ 7つの諮問



みどり丘ゆき、発車します！

No.90 おがき 2019 冬号 おがき 12月定例会 埼玉県小川町議会



各ページ下にも
町のみんなから
ひとこと！



P.14

わたしのひとこと「だから小川が好き」



吉田和男さん

先人の文化活動
を継承するた
めにできるこ
とから始めま
す。

尾島久枝さん

地元の野菜が
たっぷり。
家族で季節を
楽しんでいます。



P.8

一般質問に 9人が登壇

議員のつぶやきにも注目

特集 小・中学校 再編へ

当町でもいよいよ大論争が始まろうとしている。国は、平成28年新たに「義務教育学校」進む中、将来のグローバル化や公共施設のありかたを考える時期に入ってきた。教育の地解消していきたい。では、当町はどうしていくのか。かつて経験した再編の際の労苦は生じだろうか。この国は島国であり、資源が少ないとされている。そんな中、「子供」という貴

1 制度を設け、自治体の教育環境の変化・多様化へのかじ取りを始めた。同時に少子化が域格差や家庭の経済格差で、子供たちの学力や幼少期のさまざまな経験に差が出ることはかされるのか。まずは、現状把握と将来を想像できる環境づくりも必要になるのではない重なる資源(宝)を育てていく必要があるのでは。さまざまな角度から町民の議論を望む。

子供たちの将来を考えた教育環境

保護者

- 教育環境の充実を！
- ・教職員の人数は十分足りているのか？
 - ・中学校では部活動の種類が少ない！
 - ・学校内での人間関係の固定化の影響は？

地域住民

- 地域に学校は必要！？
- ・郷愁から残してほしい！
 - ・シンボルとして残してほしい！
 - ・見守り活動などで学校に協力したい！

議会

平成30年3月、小中学校の適正規模の研究結果を踏まえ、早急な対応策を要望した。
(議会だより87号特集ページに掲載)



何を優先 すべきか
大人は何か できるのか
何をしなくては いけないのか

教職員

- 教育環境の充実を！
- ・少人数の優位性もあるのでは？
 - ・きめ細やかな指導には子供と先生の数も考えたい！
 - ・この地で受けた教育を誇りに思ってもらいたい！

再編までの流れ

適正規模研究会
(平成28年10月～平成30年2月)
9人の有識者により研究が開始された。この間、学校管理職及び教職員にアンケートを実施し、報告書がまとめられた。

地域説明会(平成30年9月)
中学校区3地区において実施
(1) 小中学校の現状と課題及び一般的な方策について
(2) 教育と学校再編に関する保護者へのアンケートの結果について

**小川町学校再編等審議会
条例制定(平成30年12月)**
第4回議会定例会にて可決成立
*本会議において、質疑がなされた。

審議会発足
(18人以内の委員で任期は2年以内)
教育委員会・町長からの諮問^{しもん}2
に対し、調査及び審議し答申^{こしん}2
する。

再編等の計画案作成

**町民からの意見聴取
パブリックコメントなど**
町民がかかわれる最後の機会となる。

結論
町・町民・議会が全体で出した答えは、いずれの結果となっても子供たちのためになるべきである。

解説 諮問・答申2

諮問とは、一定の問題について有識者などに意見を求めること。答申とは、諮問を受けた事項について意見を申し述べること。

解説 義務教育学校1

小学校と中学校の義務教育9年間のカリキュラムを弾力的に運用できる小中一貫校。

地域説明会の資料

教職員アンケート結果



12月定例会 質疑から Pick UP!

平成最後となる12月定例会（11月29日～12月11日までの13日間）は、今後のまちづくりを大きく左右する「小川町学校再編等審議会条例制定」をはじめ、平成30年度一般会計・各特別会計の補正予算等19議案と議員提出1議案を審議し、すべて原案のとおり議決しました。

Main question Pick up

すべては子供たちのために 学校再編等審議会設置へ

設置の目的

Q 審議会に諮問する内容は、
①小中学校の再編に関する事項、
②通学区の再編に関する事項、
③教育委員会が必要とする事項、
その他、町長から関連した事項、と記されている。論点は、地域にとつての学校のあり方を問うのか。それとも子供たちを主体に考えてのことなのか。

A 子供たちにとつての教育環境の改善を第一に、諮問案を考えていきます。

審議会委員の構成

Q 委員の構成は、
（1）学識経験を有する者
（2）小中学校の保護者を代表する者
（3）行政区を代表する者
（4）小中学校の学校長

委員の任期

Q 「2年もしくは審議会の答申が終了する日のいずれか、早い日までとする」とあるが、
A 地域説明会の中でも、「早く進めてほしい」という意見が多くありました。スピード感を持って2年以内には方向性を出していきたいと考えています。

その他

Q 条例案に「小・中学校通学区審議会」を「学校再編等審議会」に改めるとある。その場合、同じ方が審議会委員に選考されるのではないか。

A 学校再編が行なわれず、当然通学区も付随して変わって考えると考えます。同じ内容で2つの審議会があると整合性が取れませんので、1本化をしてその事務を行なうものです。



待ったなし！ 小中学校で一番老朽化している東中学校。すでに西中学校も建てかえられている。スピード感を持った対応を。

平成30年度 一般会計補正予算に関する質疑

町立保育園

Q 臨時職員の賃金が増額されたが詳細は。
A 年度当初、竹沢・大河保育園では一時保育を担当する正規

職員の保育士に欠員が生じていました。事業に支障を来さぬよう、臨時職員の採用や勤務形態の変更等に対応しました。
AQ 正規職員での採用は。保育士は、専門的な理論や

町民会館改修

Q 玄関の看板が追加されたが、当初計画になかったのはなぜか。
A 当初は、各施設の看板をそのまま使用する考えでしたが、わかりづらいとの指摘がありましたので町内外の方へわかりやすいものをと考えました。

学校給食センター

Q なぜ給食センターだけ燃料費が増額要求されているのか。

小中学校エアコン拡充

Q 本年度末までに設置する教室は。
A 平成31年3月までに、小学校の音楽室、中学校の理科室に設置します。窓を開け授業を行なうと音が漏れる、実験に影響を及ぼすなど、学校の要望に応えました。

他教室への設置も考えては

AQ 子供たちの健康上、全ての教室に設置されることが理想と言えます。今年度は緊急度の高い教室に設置をしますが、他教室の設置も財政面を考慮し、研究していきます。

デマンドタクシー

AQ 補正予算で増額の理由は。当初予算では町の負担を最大で約2060万円で想定していました。上半期の利用実績から年度末までの利用額を推定した結果、582万円の補正をお願いするものです。



竹沢保育園の園児は43人。平成31年はじめての登園。まだ、お休みの園児も多くちょっぴり寂しいけれど、お家の人がつくってくれた温かいお弁当をみんなで楽しみながらお食事です。

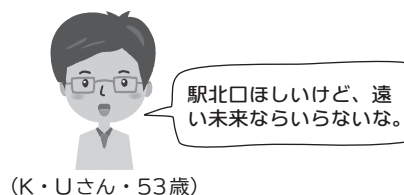


89号特集は
こちらから

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう

「89号特集について感じたこと」



駅北口ほしいけど、遠い未来ならいいな。

(K・Uさん・53歳)



デマンドタクシーは、電話がつかない。

(N・Oさん・73歳)



駅に迎えに来る方のマナー向上とスペースの確保を。

(Y・Sさん・50歳)



街中の歩道整備は、急務だね。

(A・Tさん・81歳)

ふれあいプラザおがわ

Q 15年にわたり管理をしてきた会社の振り返りと、担ってきた役割とは。

A 町民の健康増進・介護予防の目的を後押しするように、この4年間で利用者が1・3倍となっています。運動が健康長寿につながることを実践し、地域との連携においては、プラザまつりや感謝祭での測定会の実施や発表会などで新規会員の獲得につなげる実施がされています。また今後、防災イベントを計画しており、地域を巻き込み多世代交流の場としても連携の役割を果たすと期待しています。

Q 施設紹介のパンフレットが「パトリアおがわ」にしか置いていない。町は管理者と進んで連携を取っているのか。

A 他公共施設での取り扱いとしてはおらず、反省しています。今後は連携を持って対応し、事

業の啓発等も含めていきます。

Q 調理室の老朽化により、人材育成のための交流サロンの場に変更したいと要望があるが。

A 町としても稼働率の低いことを問題視しており、男性の料理教室等の提案はしていたところですが、しかし事業単価が高くなることから、実施がなされませんでした。用途変更に関しては、今後の課題として検討をしていきます。



健康づくり推進会議

Q 当町における自殺の実態は。平成28年のデータで、自殺は死因別死亡割合として6番目となっています。またライフステージ別（25歳〜44歳）では、悪性新生物に次ぐ2番目となっています。

Q 産後うつで自殺者が増加しているが、町の状況と対策は。

A 平成29年119人の出生に対し、産後うつに該当する人は12人、精神的に不安定・支援を要する人は14人となっています。窓口では数字以上に実感を感じている現状です。対策として、母子健康手帳の交付時の面接から精神的に不安定な方に保健師が寄り添い、医療機関と連携を早くから取っています。また、両親学級で父親に対しても、産後うつの理解に努めてもらえるように取り組んでいます。今後は条例に則り、さらに十分なる対応をしていきます。

条例等に関する質疑

歯科口腔保健の推進

Q なぜ今、条例制定を行なうのか。

A 高齢化率が進んでおり、今まで以上に歯科口腔保健の推進



町民の健康維持と増進、そして介護予防を担う重要な拠点となっている「ふれあいプラザおがわ」。充実したトレーニングマシンやスタジオレッスンによる体力づくり、世代間交流の場としても活躍中です。

に必要性を強く感じています。歯や口腔の疾病は、心筋梗塞や糖尿病などの生活習慣病のリスクが高まります。

議長が議会運営委員会に諮問

諮問

平成30年7月4日、松本議長は議会改革の課題について、次のとおり諮問しました。

- ①議員の意識向上の推進
- ②報酬と議員定数のあり方
- ③全員協議会のあり方と会派制のある議会の充実化
- ④議員及び議会の資質向上に向けて
- ⑤平成30年度、町・県・国への要望事項の確認
- ⑥一般質問について
- ⑦議場への国旗・町旗の掲揚について

答申

議会運営委員会は、計6回（7/18、8/22、9/19、10/12、10/24、11/14）の審議を経て2回にわたり部分答申をしました。（要約）

- 〈議員報酬〉別の組織に判断を委ね、その意見を尊重する。
- 〈議員定数〉先進地の視察研修や勉強会を行ない、継続して検討する。
- 〈全員協議会〉会議規則に位置づけ、法整備を行なう。
- 〈会派間協議の必要性〉議長は、必要に応じて招集し、議会運営上必要と認める事項について協議を行なう。
- 〈議員及び議会の資質向上〉各常任委員会を幹事とした講演会・勉強会を実施する。



議会運営委員会とオブザーバーから議長に部分答申。議会改革への「熱心な審議」はこれからも続きます。

12月定例会 全議案について全員賛成

町議会のホームページでは、全議案についての審議結果一覧がごらんいただけます。



デマンドタクシーは町中なので登録していないのでよくわかりません。元気なうちは自家用車を使います。



（Y・Hさん・60代）

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう

「89号特集について感じたこと」

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。

町の強みを生かしたまちづくりが、進むべき道。



とくち まさる
戸口 勝が問う

川の見える食事処やカフェを

Q 栃本親水公園が持つ唯一無二の立地は、未知の可能性がある。水辺と公園、山と空を望む商業施設の誘致を。

A 都市政策課長 貴重な提言と受けとめ、考えていきたいと思っています。

国土強靱化における役割は

Q 人命を守り、経済や社会への被害を最小化し、迅速に回復する強靱化策が必要と考えるが。

A 防災地域支援課長 東日本震災において、インフラ整備中心の防災対



美しい環境を活かし、町の経済の活性化を。

A 防災地域支援課長 東京に近く関越自動車道沿いの立地です。さらに過去の地震による大きな被害もありませんでした。このことから、災害時の広域支援について課題と捉え模索したいと考えます。

Q 当町の災害の歴史やデータを振り返ると被害の少なさに気づかされる。これは強みで、首都直下地震の要となり得る場所である。国や県の代替え機能場所としての提供や救済物資の巨大倉庫の提案等、また企業の役に立てる方針を。

A 防災地域支援課長 東京に近く関越自動車道沿いの立地です。さらに過去の地震による大きな被害もありませんでした。このことから、災害時の広域支援について課題と捉え模索したいと考えます。

耕作放棄地を活用し、里山を守る活動支援を積極的に行う。



かさほら たけし
笠原 武が問う

町の活性化になく観光事業を

Q 嵐山町ではラベンダー、ときがわ町ではしょうぶなど、耕作放棄田畑等を利用してお花畑をつくり、大勢の人を集めている。町は地域に働きかけたりして、お花畑等をつくろうとしたことがあるか。

A 環境農林課長 地域に積極的に働きかけをしてきた経緯はありません。町としては花々などの取り組みは地域の活性化の一つであると考え、今後観光協会と連携し、関係各課と調整を図りながら、各地域や団体との取り組みを予定していきます。



里山文化が育んできた町の自然を町の活性化に！

Q 町の「環境基本計画」の中にも「里山づくり」があり、当町の風景は典型的な里山だと言われている。里山クラブのほかにも法人化している農業問題の組織もある。町も力を入れて農業体験ツアーなどの計画に取り組むなど考えられないか。

A 環境農林課長 町は「環境基本計画」の中で「里山文化が育んできた自然を愛する持続可能なまちおがわ」として、この環境像の実現に向けた取り組みを行なっていくこととしており、そのような活動団体には補助金を交付しています。そうした地域の活動等に対し、審査基準に照らし合致すれば後援等も可能と思います。今後も里山づくりをはじめとする自主的な活動を支援し、地域振興を図っていきます。

4kgのランドセルを背負うと大人でもかなりつらいよ。



いくちりょういち
井口亮一が問う

子供達の安全な登下校と健康は

Q 「ランドセルが重すぎることで、児童の発達に悪い影響が出かねない」との指摘があるが、町内各小学校の対応は。どの指摘があるが、町内各小学校の対応は。

A 学校教育課長 毎日持ち帰るものや学校に置いてよいもの等、学校での使用頻度や家庭学習での使用状況などの点から、児童の発達段階に応じて、ランドセルが重くなり過ぎないように対応しています。

Q 小中学校の再編（規模や配置）に向けた審議会の設置などの考え方や進め方について、いつまでに町民に示すのか。

A 学校教育課長 12月議会で審議会設置条例が可決されたら、速やかに審議会委員を決定し審議会を立ち上げたいと考えています。また審議会では、広く町民各層や教育関係者などの方々に、教育環境の改善による持続可能な望ましい学校教育を実現するため、学校再編について審議いただきます。第1回の審議会は、年度内の開催を目標に進めていきます。

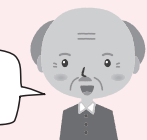
Q 県が推進している高校の再編整備構想は、町が進める駅北側整備事業やその予算にどのような影響を及ぼすのか。

A 都市政策課長 来年度事業や予算への影響はありません。来年度の駅北側整備事業については、小川高校前の町道5090号線を高校側に拡幅し、舗道を整備する予定です。国に補助金を申請中です。



ランドセルが重過ぎると身を守る行動が遅れて危険。

デマンドタクシーの町費増が気になる。



(I・Nさん・68歳)

町を訪ねてきた友人から、「駅前に何も無いね」と言われました。悔しいです。



(S・Fさん・38歳)

北口の開発を望むと小川高校はどうなっちゃうの。



(S・Sさん・30代)

お金がないのに無理に北口をつくるのは疑問。駅北口で町の問題は解決しない。



(K・Oさん・40歳)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう

「89号特集について感じたこと」

本会議における一般質問の議員1人の持ち時間は、答弁も含めて75分以内と決められています。

思い切つて、若い世代に観光事業を任せてみては。

かさはらのひろ
笠原規弘が問う

人を呼び込む仕掛けと仕組みを

Q 板本親水公園内には、憩いの場を提供するテーブルや椅子、それを覆う屋根が設備されている。屋外イベント施設や観光拠点の場所として、屋根を大きくし発展していく考えはないか。

A 都市政策課長 現段階では難しいと考えています。

Q 各地で、クラウドファンディングが注目されている。当町でも、「観光」に特化した資金調達をすべきでは。

A 政策推進課長 当町では「寄附によるまちづくり条例（ふるさと納税）」

で、用途を定めています。その範囲内で、「観光」など具体的な用途を定めて寄附を募ることは、用途指定の選択肢の一つになり得る、と考えます。

Q 槻川沿いの遊歩道を利用したアクセスを考え、増尾・腰越地区、下小川地区に駐車場用地取得はできないものか。

A 都市政策課長 観光客等の誘導手段として、街中に駐車場があることは大切なものと考えています。

Q 「観光」Ⅱ「稼ぐこと」と捉えていただき、覚悟を持った「選択と集中」を判断すべきでは。

A 副町長 観光化の成功事例には、熱量のある方が中心にいます。当町の魅力を発信し、突破口を開けるような仕掛けや仕組みをつくっていききたいと思っています。



さまざまなメッセージを込めた商工会青年部創部50周年記念事業。

未来を見据えるには、若い人の意見も取り入れよう。

たかはし
高橋さゆりが問う

子育て世帯を増やす施策展開を

Q 小川町まち・ひと・しごと総合戦略の計画期間が、平成31年度までとなっている。基本目標に対する指標で、目標値の達成分析は。

A 政策推進課長 社会増減③は半分に抑えられています。従業者は減少しています。婚姻件数・出生数は減少しているものの、子育て世帯数は増えています。入込観光客④は目標を達成しています。

Q 「子育て世帯が増えている」との答弁だが、もうひと押しの施策展開が必要と考える。例えば、町内に実家があり、

同居でなく、近くに越して来る人のために、家賃補助のような施策は考えられないか。

A 政策推進課長 同居ではハードルが高いですが、近居が現実的です。全国的事例での同居・近居に対する優遇策を第2期の計画の中で研究していきます。

職員の人材育成を

Q 民間企業や他自治体との人事交流の考えは。

A 総務課長 民間企業との人事交流は町独自の制度としてはありませんが、「彩の国さいたま人づくり広域連合」⑤の研修メニューがあります。人材育成の観点で積極的に情報の周知を図り、意欲的な職員の応募を促していきます。



「窓口対応もいいよね♪」 好評のココット。

情報過多の時代だが、本当に必要なものは伝わっているのか？

しまぎたかお
島崎隆夫が問う

描く理想のまちづくりの進捗は

Q さまざまな計画を進める上で、関連事項も含めて町民の理解は必須である。生涯学習課では、各課の事業を伝える役割を担っているが、現状は。

A 生涯学習課長 まず、まちづくりに係る課題として掲げた6事業について進捗を申し上げます。①健康づくりでは健康教室等への参加や特定検診の受診など健康寿命の延伸に取り組んでいます。また、母子健康事業では、両親学級、乳幼児健診、健康相談などを進め、町立保育園では食育に関する事業も行なっています。②福祉で

は、地域での福祉課題の共有や見守り活動推進のため、社会福祉協議会との連携を進めています。③環境では、学校教育の中で、さまざまな学習機会をとおして環境への理解を図っています。また、環境美化推進委員会や環境保全団体の活動を推奨し、自然環境の保全を進めています。④防災・防犯では防災訓練・防災講話、防災組織の設立に取り組んでいます。⑤産業では、商工会との連携により経営支援や起業支援を行なっています。農林業では、地産地消の推進や植林活動の支援等を行なっています。⑥まちづくりでは、インフラや公共資源の整備を進めています。

今後は、これら各課の取り組みをより理解していただくために、伝える術を考えていきます。



計画は、よいものができている！問題は、これらを推進する総合力だ！

解説 彩の国さいたま人づくり広域連合⑤

埼玉県と県内市町村が職員の人材開発・交流を目的に発足された。県職員・市町村職員を対象とした研修事業や市町村職員採用情報の発信の事業を行なっている。

解説 入込観光客④

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者とする。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者。

解説 社会増減③

他地域からの転入、あるいは他地域への転出によって生じる地域の人口増減。



駅も道路も早く進めてほしい。

(S・Tさん・76歳)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと一緒に見よう、考えよう

「89号特集について感じたこと」

防災計画は、災害のときに本当に機能するのだろうか。



やまぐちかつし
山口勝士が問う

住民とつくる安心の防災対策を

Q 災害に対して行政から、地域へのどんな働きかけが大切か。

A 防災地域支援課長 「避難行動要支援者名簿」を活用し、日ごろより住民同士の顔の見える関係をつくるなど、地域の防災力を高めておくことが重要と考えます。

Q 災害時の上下水での混乱の想定、例えば水の供給はどう実施されていくのか。

A 防災地域支援課長 医療機関等の重要給水施設に優先的に搬送給水を行います。



大きな災害のたびに見直しが行なわれている「小川町地域防災計画」。

A 防災地域支援課長 地域の方々からは、「区民センターや町施設以外の避難場所の確保ができないか」という話も寄せられています。地域の皆さんの不安を解消するため、どのようにしたらよいか、今後考えていきます。

Q 地域の集会所が「土砂災害警戒区域」のため、離れた町施設への避難になる地域の方々に対して、その不安解消への手立てなど話し合われているのか。

A 都市政策課長 3団地は、築年数が60年を超過し老朽化が著しいため、今後も新規に入居募集をかける予定や町営住宅として建てかえる計画はありません。跡地については公共用地として、活用もしくは売却を図っていきたく考えています。

Q 下水道整備計画の区域見直しで削減される経費は。

A 都市政策課長 当町における都市計画の方針や、埼玉県の「まちづくり埼玉プラン」における県内11号区域の縮小を進める計画に整合しないものになると考えています。現在コンパクトなまちづくりとなる立地適正化計画を策定中です。これを主軸に将来のまちづくりにおける手法・課題等を整理しているところです。

Q 市街化区域に隣接し、道路・給排水整備が整っている地域に都市計画法34条11号指定をすることにより、多くの分譲住宅建設も可能となる。この手法を用いた人口減対策を滑川町等の近隣市町で行なっている。少子化対策、人口増への特効薬となり得る区域指定をすべきでは。

橋上については、さまざまな視点から検討し、住民の今後の負担にならないことが大切。

駅北口は本当にできるの？

公共施設の総延べ床面積の53%は学校教育施設です。



たなかあきこ
田中照子が問う

当町公共施設等の現状と計画は

Q 学校施設等再編に向けての予定と地域住民への説明会での意見要望は。

A 学校教育課長 「学校再編等審議会条例」を制定し、年度内を目標に審議会を立ち上げます。当審議会に学校再編を諮問し答申後は、総合教育会議及び教育委員会で学校再編計画を策定します。説明会での意見・要望は、多くは学校再編を早く進めるべきと考えます。また、再編に伴い発生する通学等(スクールバス等)に関する質問・要望等がありました。

何とかしたいね、この道路。



おおとひさかず
大戸久一が問う

市街化区域内道路の優先整備を

Q 下小川一区内東上線南側地区は、市街地形成を促進すべき市街化区域でありながら、道幅が狭く緊急車両の通行ができない。高齢者や要介護者も現住するこの地域の安全・安心のため、また長年都市計画税を納めている住民への公平性からも、優先的に道路整備をすべきでは。

A 建設課長ほか 地権者の協力が得られ、地域の機運が高まるのが必須です。さらに合意形成がなされ要望があった場合には、必要性・緊急性・公益性や財政状況により、総合的に判断していきます。



道幅の狭い市街化区域内未整備道路。

背に腹はかえられないが、陸橋補強ってわかりすぎ。

(M・Sさん・79歳)

(Y・Sさん・60代)

(Y・Kさん・44歳)

小川高校の安全のためにも、早く北口通路をお願いします。

(T・Kさん・52歳)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう

「89号特集について感じたこと」

結婚後、妊娠を機に小川町に引っ越し暮らし始めて10年。隣の家の方から野菜や料理をいただいたり、赤ちゃんを抱いて散歩に出れば必ず誰かに声をかけられることに初めは驚き戸惑いました。しかし今では、人とのつながりが身近であることに魅力を感じています。現在は3人の子供とにぎやかな毎日を送っています。

休日には、川遊びや登山など、家族で季節を楽しむこともあります。また、新鮮でおいしい野菜が安く手に入るので、食卓はいつも野菜たっぷり。おかげで家族みんな野菜が大好きです。家族や地域の方に支えられながら、自然の中で「のびのび」と子供を育てられる環境にあることに感謝するとともに、「小川町で子育てできて本当によかった!」と、つくづく思います。



豊かな自然の中で子育て

尾島久枝さん
Hisae Ojima
(大塚1区)

地域の文化を継承する「神田祭り囃子」



吉田和男さん
Kazuo Yoshida
(勝呂上)

勝呂地区では、津島神社の夏祭りでは、166年前（江戸時代）に勝呂の先人が習い伝えた「神田祭り囃子」の音に乗って、子供みこしが元気に繰り出されます。私が子供のころは、子供みこしにお囃子がありませんでした。高度成長経済下で地域文化が軽視され、ついにお囃子を聞かずに育ちました。祭り囃子が途絶えるという危機感から、昭和47年、当時の「あかしや会」が「神田祭り囃子保存会」を発足し、子供たちに継承する活動を始めました。この取り組みで、これまでにたくさんの演奏者を地域の中で育成し、昭和63年には、県から「文化ともしび賞」もいただきました。勝呂にはほかに守るべきものはあります。私も会員の1人として、先輩たちのこの活動を継承するために、できることから始めようと思います。

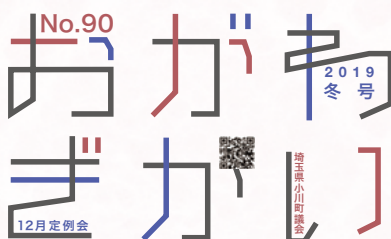
傍聴から
はじめよう!!

どなたでも傍聴できます
(事前連絡は不要です)
役場3階にお越しください

次回定例会は
2月28日(木)~
開会は**10時**です



傍聴席の
定員は
40人



No.90
小川町議会だより
平成30年12月定例会冬号
(平成31年2月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 松本修三

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 笠原規弘 副委員長 田中照子

委員 戸口 勝・井口亮一・高橋さゆり・島崎隆夫

編集後記

国際情勢が不安定の中、現代社会の先行き不透明な状況は、霧の中を目的地に向かい車を走らせることと同じ。国のかじ取りをする者には減速し安全運転が求められる。一方、当町においては少子高齢社会に伴うさまざまな問題に対し、課題解決のための政策をスピード感を持って展開することが望まれる。こういった中、議会報が住民への情報提供・町政への参画意識を促すものでなければならないと痛感する。まずは手に取ってもらえる議会報を目指したいと改めて思う。(田中照子)

